

「夏冬休み帳」私費負担の状況ミニ調査について

85回連携会議で、今年度の提言について意見交流をしたところ、夏冬休み帳の私費負担について意見が出されました。市内小中学校での統一されたとりくみとしての「夏・冬休み帳」ですが、市販品を購入することにより私費負担が多くなってきている実態があるようです。交流の中では、これまで事務職員が10円単位で公費化してきた保護者負担軽減が、たちまち増加に転じてしまうという現実に疑問を感じる声も多くありました。

86回連携会議で、実態調査を行い、提言に結びつけること、また、そのためのいくつかの追加調査についても確認されました。まずは、既に資料が整っているPFシートから各学校の現状について整理をしてみました。その結果は小学校の5校で夏冬休み（どちらか一方の場合もある）帳が私費負担となっており、その額は最小が220円、最大が970円という結果でした。中学校でも課題は出されているはずですが、私費負担はありませんでした。

そこで、提言に結びつけるための情報収集として久しぶりのミニ調査を実施するのでご協力よろしくおねがいします。調査内容については冬季研修会での交流検討も踏まえ、次頁の内容としました。

お忙しいことと思いますが、回答の上報告をお願いします。

×切は2月20日（水） 報告先、事務局次長（樽川中）

「夏冬休み帳（中学校においては夏冬休みの『課題』）」私費負担の状況ミニ調査

1. 夏冬休み帳（課題）の使用(作成)に伴う私費負担がありますか？

夏 ⇒ ある ない 冬 ⇒ ある ない

2. 1で「ある」の場合、その夏冬休み帳は、市販のものですか？

市販品である（記述も可）

いつ頃から使っていますか（

市販品ではない 学年によって異なる

3. 質問1で「ない」の場合、夏冬休み帳の作成に係る経費は？

市経理消耗品費 市経理その他（具体的に

市経理以外の財源（具体的に

4. 2で「市販品」の場合、可能でしたら夏冬休み帳の担当者に下記を訪ねてみて下さい。

質 問	回 答
仮に、公費での購入が可能だとして、それでも構いませんか？	
市販品を使用することのメリットはなんですか？	<input type="checkbox"/> 制作に要する時間や労力が軽減出来る <input type="checkbox"/> 内容が、自作のものに比べて充実している <input type="checkbox"/> 市販品であることによって、大切に使うことが期待できる。 <input type="checkbox"/> その他（記述）

集計にあたっては、学校が特定されることなどが無いよう十分配慮します。